

令和5年度（2023年度）学校自己評価

北九州調理製菓専門学校

学校経営改善に向けての努力点（＝自己評価項目）として、以下に示す10の大項目を設定し、さらに、各項目に対応する複数のチェック項目を設定した。教職員（学校）は、これらの実現・適正化に努め、その結果を検証し、一層の学校改善を進めるものとする。（PDCA）

＜点検項目の評価について＞

- * 大項目の総合評価・各小項目の評価は（4…適切 3…ほぼ適切 2…やや適切 1…不適切）の4段階で行う。
- * 評価案の作成については、学校自己評価委員が「学生による学校評価アンケート」や「教職員による学校評価アンケート」等の資料をもとに行う。
- * 評価案は拡大学校自己評価委員会（職員会議）に提出し、その審議を経て決定する。

＜重点目標について＞

本年度は以下ア～ウを重点項目として、学校改善を進めた。なお、学校自己評価や学校関係者評価においても、これらを踏まえて検証を進めていく。

ア 「一人ひとりに心が通う教育」の実現

- ・ アンケートや個別面談等を通じて、個々の特性を把握し、臨機応変に対応していく
- ・ 勇気づけ励ます教育の理念を教職員全体で共有し、実践する。

イ 教育内容の充実

- ・ 教育計画（カリキュラム）が時代の変化・社会（地域・関連業界等）のニーズ・学生のニーズに対応しているか不断の検証を進める。そのための情報収集を積極的に進める。
- ・ 新入生アンケート等を活用し、学生のニーズを把握し、教育計画の工夫・改善を進める。

ウ 確かな進路指導の実現

- ・ 全体指導・個別指導を取り混ぜながら、系統的な進路指導を進める。
- ・ 職員会議、通常のミーティング等を活用し、職員全員が個々の学生の進路希望などの情報を共有し、組織的な指導をおこなう。
- ・ 積極的な職場（求職先）開拓を進める。

(1) 教育理念・目的・育成人材像

＜4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切＞

総合評価

4

- ① 学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められているか。・・・(4)
- ② ①は学生・保護者等に周知されているか。・・・(3)
- ③ ①は学生・保護者・調理製菓業界等の社会的ニーズに適合しているか。・・・(4)

評価理由等

- ・学生77%、教職員は100%が「ほぼ適切」以上の評価である。
- ・学生・保護者には入学説明会等において周知を行ったが、日々の徹底がやや不十分。

(2) 学校運営

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ① 運営方針・事業計画・予算を適正な手続きで決定しているか。・・・(4)
- ② 運営方針・事業計画を文章化し、教職員に周知・徹底しているか。・・・(3)
- ③ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。・・・(4)
- ④ 学校運営組織を整備し、適正に運営しているか。・・・(3)
- ⑤ 意志決定システムを整備し、適正に運用しているか。・・・(3)

評価理由等

- ・教職員評価で89%が「ほぼ適切」以上となっている。
- ・YICグループの運営方針をもとに改善できるところから取り組む必要がある。

(3) 教育活動

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①教育理念・目的に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか。・・・(4)
- ②教育課程は教職員によって、的確に実施されているか。・・・(4)
- ④ シラバスの作成などによって、授業内容・計画・目標及び評価基準等は明示されているか。・・・(3)
- ⑤ 成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定め、適正に運用しているか。・・・(4)
- ⑥ 授業評価の実施体制を整備し、実施しているか。・・・(2)
- ⑦ ⑤を通じて、カリキュラム・授業改善は適切にすすめられているか。・・・(3)
- ⑧ 教育目標の実現に向けた教職員は確保されているか。・・・(2)
- ⑨ 教職員の資質（専門性・指導力等）向上に向けた研修が適切に計画・実施されているか。・・・(2)

評価理由等

- ・教育課程の編成等は理念に沿って定められているが、教員としての経験が少ない為指導体制を共通理解していく必要がある。
- ・シラバスや学習評価、判定基準については学生に周知し運営している。
- ・研修の機会を増やして教職員の資質向上に取り組む必要がある。

(4) 学修成果

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①就職率を向上させるための施策は図られているか。・・・(3)
- ②退学者を減らすための施策は図られているか。・・・(3)
- ③学生が身につけるべき資質・能力（知識・技能等）は明確化されているか。・・・(4)
- ④③の向上にむけて、その実現度合いを把握し、教育活動等の改善をすすめているか。・・・(4)
- ⑥ 卒業生・在校生の社会的活躍及び社会的（就職先等での）評価を把握しているか。・・・(3)
- ⑥⑤を踏まえて、教育活動等の改善を進めているか。・・・(3)

評価理由等

- ・就職について個別面談等により適切に対応しているが、学生の就職活動時期が遅くなる傾向にある。
- ・退学者を0にしたいところではあるが、さまざまな状況により修了できない者もいる。

(5) 学生支援

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

- ①就職等進路決定に対する支援体制は整っているか。・・・(3)
- ②学生の心身の健康維持・管理は適正に行われているか。・・・(3)
- ③学生への経済支援体制は整っているか。・・・(4)
- ④学生の課外活動に対する支援体制は整備されているか。・・・(3)
- ⑦ 保護者との連携は適切に行われているか。・・・(4)
- ⑧ 卒業生への支援体制は整っているか。・・・(3)

評価理由等

- ・進路等の支援は適切に行っているが、就職に積極的でない学生への支援の工夫が必要
- ・学生の多様化（障害の有無など）、教職員減などにより対応し切れていない面がある。
- ・授業料の分割納入や遠隔地の通学費補助などを行っている。

(6) 教育環境

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

2

- ①施設・設備はカリキュラムに対応した適正なものになっているか。・・・(3)

②施設・設備は安全・衛生面で適正なものになっているか。・・・(3)

③企業等の連携により、実習・インターシップの場等の教育体制は整備されているか。・・・(3)

④防災・安全管理体制を整備し、適切に運営しているか。・・・(4)

評価理由等

- ・老朽化等による不備があるが、年度ごと少しずつ更新している。
- ・コロナ過が少し落ち着き、実習等は適切に行えた。

(7) 学生の受け入れ募集

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

2

①入学者の募集活動を適正かつ効果的に実施しているか。・・・(3)

②選考時期・選考基準・選考方法は適切なものになっているか。・・・(3)

③校納金（入学金・諸経費・学費など）等は適切か。・・・(4)

評価理由等

- ・YICの広報と連携を図りながら、効率のよい広報活動を実施していきたい。
- ・目標とする入学者数（定員）に到達していない。

(8) 法令等の遵守

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

①適正な学校運営を行うに当たり、法令や学校設置基準を遵守しているか。・・・(4)

②個人情報の保護のための対策は適正に講じられているか。・・・(4)

③学校自己評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。・・・(3)

④学校関係者評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。・・・(3)

評価理由等

- ・法令の遵守、個人情報の管理等適切に実施している。
- ・学校自己評価等については、今年度集計等がやや遅れ深い検討ができなかった。

(9) 社会貢献・地域貢献

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

①学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。・・・(3)

②学生・職員によるボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

・・・(3)

評価理由等

- ・イベント等への参加は積極的に行っており、貢献できていると思う。
- ・ボランティア活動については、積極的にはまだ実施できていない。

(10) 財務

<4…適切 3…ほぼ適切 2…やや不適切 1…不適切>

総合評価

3

①学校及び法人運営の中長期的な財政基盤は安定しているか。・・・(3)

②財政について、法律等に乗っ取り適正に監査が実施されているか。・・・(4)

③財務情報は適切に公開されているか。・・・(4)

評価理由等

- ・YIC のシステムを導入し始めており、これから共通理解を深めたい。
- ・入学者数の減少や物価の高騰などにより、先行きは楽観視できない。無駄な部分などを把握して健全に運営していきたい。